

「煉獄」半田一也 / 鉛筆

第7回

心のアート展

境界を越えて
— 生の原点に還る —

2019年6月25日(火)～30日(日)

10:00～19:00 (最終日は17:00まで)

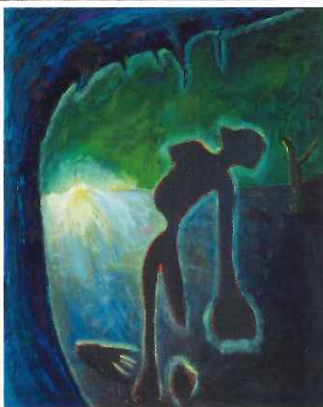
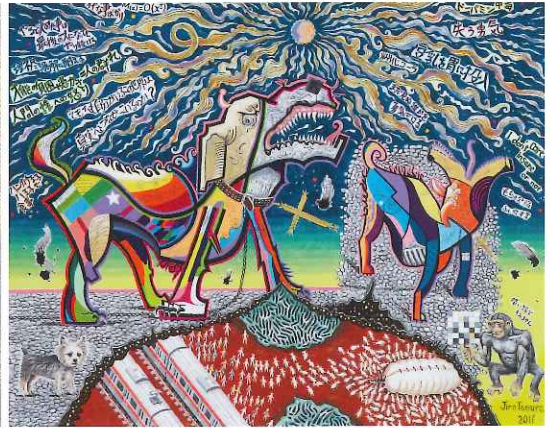
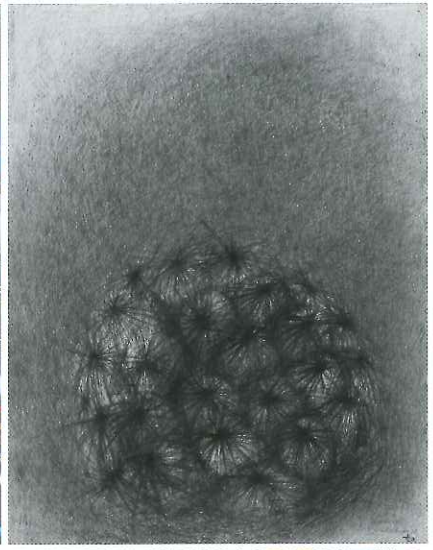
東京芸術劇場5階 [ギャラリー1]

〈審査員〉

鹿島 晴雄 (国際医療福祉大学大学院教授)・齋藤 章二 (斎藤病院理事長・院長)・倉林 靖 (美術評論家)・田部井 月四 (日本画家)・安彦 講平 ((造形教室)主宰)

主催：一般社団法人 東京精神科病院協会 共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

後援：東京都、東京都立中部総合精神保健福祉センター、東京都立多摩総合精神保健福祉センター、東京都立精神保健福祉センター、東京都立松沢病院、社会福祉法人NHK厚生文化事業団



公募作品展示

協会会員66病院から公募し、一作一作、真摯に向き合い、心ゆさぶられ、熱意を込めて審査した「声なき声、眩き、ため息、独り言、そして魂の叫び」を表現した、迫力のある多様な世界を展示します。観覧無料。

上段左側から『無光側—それでも描くということ—』本木 健 / 『時間空間の人』奥村 欣央 / 『私の心臓は毛が生え、神経は鋼鉄より太く硬く』江中 裕子 / 『サボテン』杉本たまえ
中段左側から『変異する自己』荒川 友美 / 『白屋夢』ごりごり美 / 『人間の性(さが)への怒り』田村 次郎
下段左側から『僕の人生の中で探し当てたウェブレットとユベ(タベ)』森 隆敏 / 『墮ちる』名倉 要造 / 『出発の朝』古名 和哉

第7回 心のアート展 境界を越えて — 生の原点に還る —

特集 池袋モンパルナス

本展の会場である東京芸術劇場の周辺は、かつては「池袋モンパルナス」と呼ばれるアトリエ村があり、薔光、鶴岡政男、松本竣介、熊谷守一、長谷川利行など、多くの芸術家が活動の拠点としていました。アカデミズム、画壇など既存の技法や理念、制度にとられない前衛芸術の囀を創り出した「池袋モンパルナス」の活動と、「心のアート」の表現世界は時代や社会、個々の境涯を越えて通底しているのではないのでしょうか。



「眼のある風景」薔光 / 東京国立近代美術館所蔵 / Photo: MOMAT / DNPpartcom

■ギャラリートーク

「病む」とは何か、「表現」とは何か、「生きる」とは何か。実作品を前に作者や関係者の方々に、作品解説や制作の背景について語っていただきます。参加自由。

■座談会

出品者や審査員、ゲストを交え、表現活動やアートの持つ力、意味、可能性について語り合います。冒頭に、「池袋モンパルナス」の呼称を唱えた詩人・小熊秀雄の詩などを、舞台俳優の大谷やよい氏に朗読していただきます。参加自由。

■ワークショップ

《スタンドグラス小物作り》
スタンドグラス作家の野口均氏によるワークショップ。スタンドグラス用の綺麗なガラスでアクセサリーや写真立てなどの小品を作ります。参加費、材料費無料。作ったものはお持ち帰りができます。

《シルクスクリン体験》

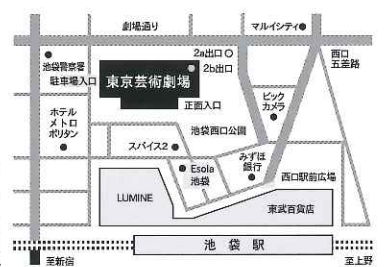
10種類の盤の中から好きな絵柄を選んでいただき、ハンカチやエコバックなどの布地にプリントします。無地のTシャツ等、プリントしたいものを持参しての参加も可能です。参加費、材料費は無料。作ったものはお持ち帰りができます。

■スケジュール

- 6/27(木) 14:00 ~ シルクスクリーン体験ワークショップ
- 6/28(金) 14:00 ~ スタンドグラス小物作りワークショップ
- 6/29(土) 14:00 ~ ギャラリートーク / 16:00 ~ 座談会
- 6/30(日) 14:00 ~ ギャラリートーク

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-20-1
TEL: 03-5391-2111
＜アクセス＞ JR 有楽町線、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通道の2a出口で直結しています。



◎お問い合わせ先 一般社団法人 東京精神科病院協会
〒183-0055 東京都府中市市町1-23-3 TEL: 042-352-0541 / FAX: 042-334-1434